



山口大学

美祢市と連携した学習支援・PBL連動型の 教員養成モデルの構築

山口大学教育学部講師 原田 拓馬

課題と目的

課題

- 山口大学教育学部は山口県内全域の学校教育への人材輩出を担う教員養成を使命とする一方で、大学生が実地体験を蓄積する教育実習校・体験校は、教育学部附属学校園（山口市・光市）、キャンパス所在地の山口市の学校、各学生の出身地域の市町の学校に終始しやすく、大学・学生の非近接的な県内地域への関係人口化を伴うような、すなわち県内全域をカバーする教職キャリア形成を引き起こす仕組みが強くないことに、一つの課題をもつといえる。
- 山口県内の各自治体間の人口減少の進展にも格差があり、その傾向が特に見られる中山間地域・離島等の自治体は必然的に教員のなり手も徐々に少なくなることから、教員養成課程において当該地域の非出身学生が当該地域に親和性を持ち、固有の教育環境を理解し、その資源を活用して教育活動を展開できるスキルを持った教職キャリアを形成する仕組みを整備することは、将来的にその地域において有為な教員人材を構造的に確保する観点からも喫緊の課題である。地方国立大学教育学部として県内全域の学校への人材輩出を使命とする以上、早急に解消に向けて取り組まなければならない課題である。

目的

- 山口大学教育学部の大学生（非・美祢市出身者）を活動主体として、学習指導・児童生徒理解の力を高めながら、大学生が「美祢の地域環境」を学ぶ教育活動を通して、「美祢の教育の充実・発展に多角的に寄与すること」が実感でき、「美祢の教育に貢献したいと思える」、新たな教員養成モデルを構築することを目指す。

取組 1 美祢市立学校での学習支援

取組内容

- 美祢市立美東小学校を拠点として、教育学部生2名が、令和7年11月～令和8年3月までの期間、毎週1日の頻度で学校現場での12週の学習支援を実施。
- 美祢市教育委員会との連携のもと、令和8年度以降に向けて、美祢市立美東小学校を実施拠点校とした上で、美祢市立美東中学校、美祢市立豊田前小学校における学習支援を継続的に体験できる体制を整備完了した。なお、美東中学校では小中一貫教育、豊田前小学校では複式学級指導を体験する予定である。

取組 2 美祢市の地域資源を活用した教育プログラム開発（PBL）

取組内容

- 国内初の官民協働刑務所である美祢社会復帰促進センターとの連携のもと、美祢市立豊田前小学校、美祢市立大嶺中学校を実施校として、教育学部生主体で各校の児童生徒を対象とした「共生教育」の授業を企画・実施する「美祢共生教育プロジェクト」をにに取り組んだ。児童生徒における美祢社会復帰促進センターへの理解、並びに共生意識の醸成に貢献した。美祢社会復帰促進センターや地域住民とも交流し、地域に親しみながら、地域固有の資源を活用した教育活動を経験することができた。
- 美祢社会復帰促進センター、法務省矯正局において報告会を開催いただき、関係者の関心を広く集めた。令和8年度以降も継続予定。

学生の体験

- 実際にどのように地域と学校が連携しているのか、という実情を知ることができた。
- 地域連携は、児童や学校にとって有意義であるだけでなく、地域の活性化にもつながっており、相互に良い影響を及ぼしていると感じた。
- 学校だけで子どもを育てるのではないという安心感につながった。

学習支援・PBL連動型の教員養成モデル

学習支援・PBL連動型の教員養成モデルの実装体制

- 美祢市教育委員会と連携し、令和8年度以降、山口大学教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース教育学選修の学校推薦型選抜Ⅱ（山口県小学校教員志望枠）における入学者を対象とした正課の学習プログラムにおいて、本取組を発展した教員養成を美祢市で展開する予定である。